

フィルハーモニカー・ウィーン・名古屋 第23回演奏会

チェロ協奏曲の最高傑作とも言われるドヴォルザークのチェロ協奏曲、そして古今の交響曲の中でも指折りの有名曲「新世界より」。ウィーン・フィルで活躍中のベルンハルト・直樹・ヘーデンボルク氏をソリストに迎え、チェコで長く活躍し、ドヴォルザークも自家薬籠中の物とする名匠：武藤英明氏の指揮によりお送りします。2020年に開催予定もコロナ禍により中止を余儀なくされた本公演が、5年の時を経て遂に実現します。



指揮 武藤 英明 MUTO Hideaki

桐朋学園大学卒業。斎藤秀雄に指揮を学ぶ。1976年チェコのプラハに渡り、ズデネック・コシュラーに師事する。1986年プラハ放送交響楽団とサントリーホール・オープニングシリーズで日本デビュー。1990年、同放送交響楽団と「プラハの春」国際音楽祭に出演。2004年名古屋フィルハーモニー交響楽団と再度「プラハの春」国際音楽祭に出演。今までに指揮している主なオーケストラは、プラハ交響楽団 FOK、スロヴァキア・フィルハーモニー、プラハ放送交響楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、フランクフルト放送交響楽団、ロシア・フィルハーモニー交響楽団、ネザールランド・フィルハーモニー交響楽団、チューリッヒ交響楽団、ロンドン・フィルハーモニー、国内では、札幌交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団等々。CD録音にチェコ・フィルハーモニー管弦楽団とのモーツァルト：交響曲第40番ト短調、第41番「ジュピター」他、ターリッヒ室内オーケストラとのモーツァルト：交響曲第38番「プラハ」、ドヴォルザーク：チェコ組曲、ヴァイオリンのための「ロマンス」、弦楽セレナーデ 長調、ヤナーチェク：弦楽のための組曲、ロンドン・フィルハーモニーと「行進曲」—世界に冠たる日本のマーチ等々、著書に「スメタナ弦楽四重奏団が語るクワルテットのすべて」(音楽之友社)がある。



© Julia Wesely

チェロ独奏 ベルンハルト・直樹・ヘーデンボルク Bernhard Naoki Hedenborg

5歳よりチェロを始める。12歳でモーツァルトテウム管弦楽団との共演でソロ・デビュー。13歳からモーツァルトテウム国立音楽大学、後にはウィーン国立音楽大学でハインリッヒ・シフの下で研鑽を積む。「若い音楽家のための国際チェロコンクール」(1993年、イタリア)優勝、「第2回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール」(1995年、仙台)銀メダル等。2003年バイエルン放送室内管弦楽団とのハイドンのチェロ協奏曲でウィーン楽友協会大ホールにデビュー。2007年にはアイゼナハ歌劇場(ドイツ)のソリスト・イン・レジデンスを務め、音楽総監督の阪哲朗と共に演奏を行った。ウィーン・トーンキュンスラー管弦楽団首席チェロ奏者を経て、2011年にウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団、2014年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の正団員となる一方で、室内楽の演奏活動にも積極的である。三兄弟により結成されたヘーデンボルク・トリオとして活動、ベートーヴェンのピアノ・トリオ・シリーズをCD収録。2004年から参加しているピアノ四重奏団アンサンブル・ラロとしての活動も続けており4枚のCDをリリースしている。2006年から2019年まで神戸国際芸術祭の音楽顧問を務め、ソリストとしても国内外の数々のオーケストラと共演している。1979年、ザルツブルク(オーストリア)生まれ。ウィーンを拠点に演奏活動中。

管弦楽 フィルハーモニカー・ウィーン・名古屋 Philharmoniker Wien Nagoya

フィルハーモニカー・ウィーン・名古屋(PWN)は、ウィーン音楽・ウィーン式管楽器をこよなく愛する東海地区のアマチュア奏者を中心に2011年に創設されたオーケストラです。管・打楽器は全員が、世界最高峰ともされるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団(WPh)で使用されている独特のスタイルの楽器〜ウィンナ・オーボエ、ウィンナ・ホルン、ウィンナ・アカデミー式クラリネット、ウィンナ・ティンパニなど〜を使用し、その美しい響きを追求しているという点で他に類を見ない、日本で唯一の楽団と言えるでしょう。また、楽器のみならずWPhの団員やOBの演奏家を指揮者やソリストとして招聘し、演奏スタイルや精神面まで含め、その薫陶も受けることにより更なる高みを目指しており、10代から80代、関東や関西からも幅広くメンバーが集まっています。古典派から後期ロマン派の大編成の曲まで幅広く取り上げるほか、国立歌劇場管弦楽団を母体とするWPh同様、別名称で歌劇の公演にも取り組むなど、多彩な活動を行っていることも特徴です。



サラマンカホール
岐阜市藪田南5丁目14番53号
JR岐阜駅よりバス約20分
名鉄岐阜駅よりバス約25分
JR西岐阜駅から約2km
無料駐車場完備

*終演後は西岐阜駅まで臨時の無料マイクロバスを運行します(出発場所は当日ご案内します)



第24回演奏会のお知らせ 2026年3月29日(日) 午後開演予定 愛知県芸術劇場コンサートホール